

## 執筆要項（日本語で執筆する場合）

1. 原稿には必ず表紙をつける。表紙には、論文タイトル（サブタイトル）、執筆者名、執筆者肩書（所属）、連絡先（住所、電話番号、メールアドレスのうち二つ）を記入する。
2. 「査読論文」の場合、原稿「本文」は、1頁目に日本語タイトル（サブタイトル）、日本語 800 字以内の抄録、日本語による 3~5 のキーワードを記載、2 頁目には英語タイトル（サブタイトル）、英語 250 語以内の Abstract、英語による 3~5 のキーワードを記載すること。3 頁目からが本文となる。「特集」に投稿する論文、エッセイの場合上記は不要。
3. 公平な審査を期するため、謝辞および付記等は掲載可の判定が通知され、著者校正を行う時点で書き加える。個人的な謝辞は記載しないこと。査読の際に投稿者が誰か判明しないよう、参考文献等の書き方に注意すること。
4. 日本語の「査読論文」の原稿の書式（日本語）は、原則として以下の通りとする。「特集」の注や引用の書き方は以下の限りではなく、著者の専門分野の慣例に従うこと。
  - (1) 原稿は A4 判のサイズとし、横書き 40 字×40 行で作成する。
  - (2) 文末脚注機能を用いて、注を作成する。
  - (3) 注と文献リストは別々に作成する。
  - (4) 参考文献の提示は本文・注を問わず「著者名、発行年、頁数」とする。

例)

本文内での提示（日本語）

「状況を意味づける情況編成は、いつでも情況の再編成である」（深谷・田中, 1996, p.36）。

ただし著者名と出版年がすでに本文に組み込まれている場合は、著者名の表記は不要。

深谷と田中（1996）によれば、《意味づけ論》において「状況を意味づける情況編成は、いつでも情況の再編成である」（p.36）。

\* 直接引用でない場合でも、該当箇所のページを表記すること。

(5) 日本語以外の言語を引用する場合は、必ずその日本語訳を併記すること。既訳を参照した場合は、その書誌情報を記載する。著者本人による訳文の場合はその旨を明記する。原文のみを参照した場合、既訳がある場合でも、原文の書誌情報のみを記載すればよい。

(6) 文末に参考文献一覧を提示する。

例) 書籍 記載順は「著者名、（出版年）、著作名、出版社名」とする。また著作に複数の版がある場合は、著作の初版年も表記すること。

山口昌男（1975/2017）『道化の民俗学』岩波書店

ケプラー、ヨハネス（1634/1985）『ケプラーの夢』渡辺正雄、榎本恵美子訳、講談社

例) 論文 記載順は「著者名、（出版年）、「論文タイトル」巻号数、ページ数」とする。

見田宗介 (2014) 「高原の見晴らしを切開くこと: 未来の社会学への助走」『現代思想』第 42 号、28-33 頁。

(7) 日本語以外の文献を参照する場合は、APA マニュアルの最新版、あるいは当該言語の文献表記の慣例に従って記載する。記載順は (6) と同じ。欧文の書名、雑誌名はイタリックにすること。

例) 書籍 (日本語訳を記入する場合)

Gilroy, Paul. (1993). *Black Atlantic: Modernity and Double Consciousness*, Verso. (ポール・ギルロイ『ブラック・アトランティック——近代性と二重意識』上野俊哉、毛利嘉孝、鈴木慎一郎訳、月曜社。)

例) 論文 (電子版は末尾に doi 番号を入れる)

James, N. (2010). Material Propositions on the Individual/Collective: The Work of Vladimir Tatlin. *Modernism/modernity*, 17(1), 109-134. <https://doi.org/10.1353/mod.0.0167>

\* APA スタイルの詳細については、現在の最新版を記載している以下のページを参照のこと。

Purdue Online Writing Lab, “APA Formatting and Style Guide, 7<sup>th</sup> Edition”,  
[https://owl.purdue.edu/owl/research\\_and\\_citation/apa\\_style/apa\\_formatting\\_and\\_style\\_guide/general\\_format.html](https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/apa_style/apa_formatting_and_style_guide/general_format.html)

(8) 図表は 3 点以内 (図表は文字数には含まない。また論文における議論を展開するうえで不可欠のものに限る)